



2020年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社イトアンドホールディングス
代表者名 代表取締役会長CEO 文 野 直 樹
(コード番号 2882 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員経営戦略本部長 加 藤 達 也
TEL: 03-5769-5050

2021年2月期連結業績予想および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年2月期(2020年4月1日～2021年2月28日)の通期連結業績予想および2021年2月期第2四半期連結会計期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において、下記のとおり特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年2月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	26,066	100	110	△342	△33.67
(ご参考)前期実績 2020年3月期	30,361	810	808	340	33.56

(注) 2021年2月期は決算期変更に伴い11ヶ月の変則決算となることから、増減額および増減率の記載は省略しております。

(連結業績予想の理由)

2021年2月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える未確定要素が多数存在することから未定としておりました。現時点におきましても、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明な状況ではありますが、入手可能な情報や予測に基づいて算定した通期業績予想を公表いたします。

第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、外食事業では外出自粛ムードの影響が依然として続くものの、食品事業では内食需要が引き続き堅調に推移すると想定しています。

親会社株主に帰属する当期純損失については、大阪オフィスビル売却による特別利益が発生する一方で、店舗閉鎖による閉鎖損失、減損損失等の特別損失の計上および繰延税金資産取崩

による税金費用負担増加を見込んでおります。

なお、当予想は今後のコロナウイルス感染症の状況によっては大きく変動する可能性がありますので、今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示する予定であります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 特別損失の発生およびその内容

当第2四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえ、閉店の意思決定を行った店舗に係る店舗閉鎖損失 155 百万円、減損損失を 380 百万円計上しました。

以 上